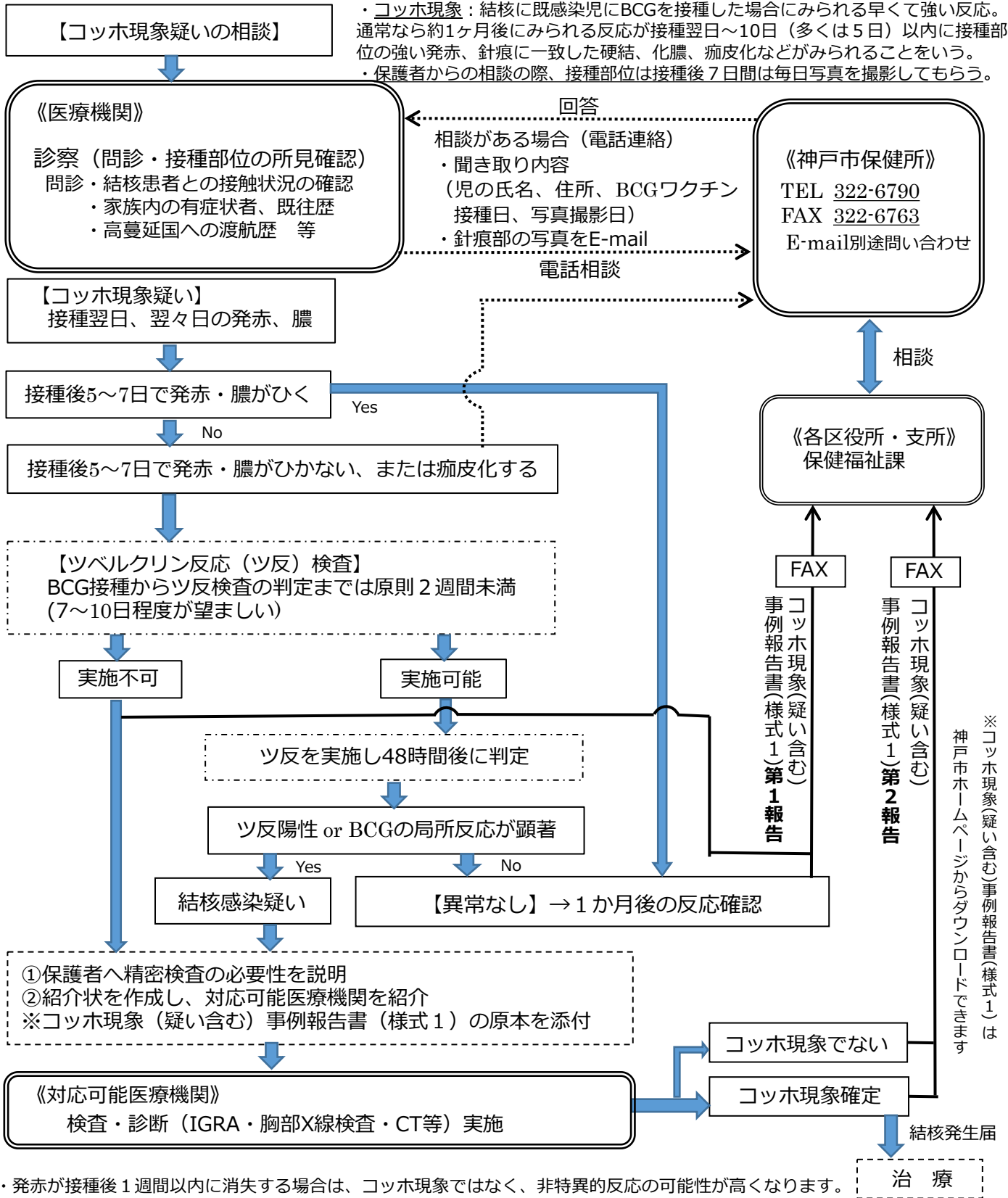


コッホ現象疑い対応フロー（医療機関用）

- ・正常な経過：接種後、約3週間後に針痕が目立ち始め、発赤・膿がみられ、1～2ヶ月をピークに徐々に痂皮化し、数ヶ月で目立たなくなっていく。
- ・コッホ現象：結核に既感染児にBCGを接種した場合にみられる早くて強い反応。通常なら約1ヶ月後にみられる反応が接種翌日～10日（多くは5日）以内に接種部位の強い発赤、針痕に一致した硬結、化膿、痂皮化などがみられることをいう。
- ・保護者からの相談の際、接種部位は接種後7日間は毎日写真を撮影してもらう。



・発赤が接種後1週間以内に消失する場合は、コッホ現象ではなく、非特異的反応の可能性が高くなります。このような場合、接種後3～4週間（早ければ2週間）程度で通常経過の針痕部の反応が出てくればコッホ現象ではありません。その際1か月後、通常経過の反応を確認してください

○コッホ現象(疑い含む)事例報告書(様式1)の第1報告、第2報告のFAX送信先は各区役所・支所保健福祉課へお問い合わせください